

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」
における行動目標設定一覧

基本戦略		現行	追加	削除	改訂後
基本戦略Ⅰ					
人を「育む」	P 1	27	13	13	27
基本戦略Ⅱ					
生産を「増やす」	P 4	73	26	31	68
基本戦略Ⅲ					
マーケットを「拓く」	P 13	40	18	27	31
基本戦略Ⅳ					
生産を「支える」	P 17	33	8	6	35
基本戦略Ⅴ					
地球を「守る」	P 22	49	19	22	46
		222	84	99	207

※次表 白色セル：継続、黄色セル：追加、灰色セル：削除

赤字:上方修正、青字:下方修正

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
1	I	1	新規就農者数(累計)	○	目標達成にむけて引き続き実施	人	H27	327	729	1,330
2	I	1	アグリビジネススクールの入学者数(累計)		目標達成にむけて引き続き実施	人	H27	99	178	250
3	I	1	農業大学校における資格取得件数(累計)		目標達成にむけて引き続き実施	件	H27	213	411	420
4	I	1	他産業からの農業への参入数(累計)		目標達成にむけて引き続き実施	組織	H27	25	30	33
5	I	1	農業法人数(累計)	○	数値目標を達成し、更に推進が必要なことから上方修正 255→305	経営体	H27	230	302	305
6	I	1	サイエンスゾーンにおける大学・民間事業者の参入者数		目標達成にむけて引き続き実施	者	H27	-	3	5
7	I	1	労働力確保マッチング件数		目標達成にむけて引き続き実施	件	H27	154	192	200
8	I	1	女性農業リーダー(指導・青年農業士、農業委員、JA役員等)の割合	○	目標達成にむけて引き続き実施	%	H27	8	13	15
9	I	1	農業女子による新たなビジネスプラン作成数(累計)		目標達成にむけて引き続き実施	件	H27	10	23	30
10	I	1	モデル集落営農組織数		目標達成にむけて引き続き実施	組織	H27	-	7	10
11	I	1	農林水産業新規就業者数(累計)	○	農林水産業全体の担い手確保の指標として設定	人	H29	879	1,047	1,760
12	I	1	農業系大学生等によるインターンシップ参加者数(年間)	○	直近3か年の平均値以上でH29年度実績を超える目標値を設定	人	H29	176	246	180
13	I	1	六次産業化研究施設の利用者数(年間)	○	「食Pro.」の育成人数から置き換え、わかりやすい年間目標として設定	人	H29	-	310	300
14	I	1	農業リカレント教育修了者数(累計)	○	農業における担い手確保の指標として設定	人	H29	152	304	630
15	I	1	「農福連携」マッチング数(年間)	○	農福連携を推進するための指標として設定	件	H29	2	2	3
16	I	1	「旧果樹研究所」の利活用による「人材育成」・「にぎわい交流」拠点の開設	○	「人材育成」・「にぎわい交流」拠点の指標として設定	-	H29	-	-	開設
17	I	1	外国人活用セミナー開催数(年間)	○	外国人材活用を促進するための指標として設定	回	H29	-	-	3
18	I	1	農業系大学生等によるインターンシップ参加者数(累計)		新行動計画に合わせて、わかりやすい年間数に変更	人	H27	152	698	775
19	I	1	中核的農林漁業者育成数(累計)		農林水産業新規就業者数に統合	人	H27	358	592	720
20	I	1	「人・農地プラン」に新たに位置付けられる「地域の中心となる経営体数」(累計)		農業法人の育成数及び農地中間管理機構を活用した農地集積に置き換え	経営体	H27	204	636	1,050
21	I	1	「食Pro.」の育成人数		六次産業化研究施設の利用者数に置き換え	人	H27	10	41	60
22	I	1	インターンシップ受入登録業者数		農業系大学生等によるインターンシップ参加者数(年間)に置き換え	箇所	H27	36	85	90
23	I	1	就農研修への参加者数		新行動計画の「農林水産業新規就業者数」に置き換え	人	H27	創設	191	160
24	I	1	「若手女性農業者フォーラム」開催件数		女性農業リーダーの割合に置き換え	回	H27	22	32	35

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
25	I	2	新規林業就業者数(累計)	○	目標達成にむけて引き続き実施	人	H27	64	180	240
26	I	2	「とくしま林業アカデミー」の修了者数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	人	H27	-	37	70
27	I	2	林業プロフェッショナル数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	人	H27	261	331	370
28	I	2	経営委託が可能な「林業経営体」登録数(累計)	○	国の新たな法律により、新たな事業体の制度が創設されたため設定	経営体	H29	-	-	10
29	I	2	大学等の体験林「フォレストキャンパス」の利用者数(累計)	○	設置目標が達成したことから、活用に係る新たな目標として設定	人	H29	-	-	320
30	I	2	林業リカレント教育修了者数(累計)	○	林業の担い手確保の指標として設定	人	H29	-	-	80
31	I	2	VRを活用した労働安全研修の実施	○	素材生産現場における重大な労働災害の発生を防止する指標として設定	-	H29	-	-	実施
32	I	2	林業事業体登録数		国の新たな法律により、新たな事業体の制度に置き換え	事業体	H27	64	68	68
33	I	2	大学等の体験林「フォレストキャンパス」の創設(累計)		数値目標を達成し、活用に係る目標を設定	箇所	H27	2	5	5

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
34	I	3	「とくしま漁業アカデミー」の修了者数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	人	H27	-	12	20
35	I	3	新規漁業就業者数(累計)	○	新行動計画の基準年度に修正して設定	人	H29	117	138	190
36	I	3	漁業リカレント教育修了者数(累計)	○	漁業における担い手確保のための指標として設定	人	H29	-	-	60
37	I	3	新規漁業就業者数(累計)		新行動計画の基準年度に置き換え	人	H27	237	305	360
38	I	3	青年漁業者等就業支援事業の就業定着支援者数(累計)		新規漁業就業者数(累計)に置き換え	人	H27	14	55	90
39	I	3	「漁業人材育成プログラム」に基づく研修等の受講者数(累計)		漁業リカレント教育修了者数(累計)に統合	人	H27	972	1,998	2,400
40	I	3	漁業体験者数(累計)		漁業リカレント教育修了者数(累計)に統合	人	H27	30	141	180

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
41	Ⅱ	1	高温耐性品種「あきさかり」の栽培面積	○	より推進を図る必要があることから上方修正 1600→1850	ha	H27	23	980	1,850
42	Ⅱ	1	県産米輸出数量	○	より推進を図る必要があることから上方修正 80→86	t	H27	60	112	86
43	Ⅱ	1	阿波十割の銘柄数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	銘柄	H27	-	26	30
44	Ⅱ	1	水稻の多収品種の作付面積	○	低コスト化を図るための多収性品種の導入を推進するための指標として設定	ha	H29	780	1,257	2,130
45	Ⅱ	1	飼料用米の作付面積		新行動計画の「水稻の多収品種の作付面積」に飼料用米が位置づけられるため置き換え	ha	H27	988	543	1,600
46	Ⅱ	1	米粉の需要拡大		主食用米による米粉の需要拡大を図ってきたが、海外市場や業務用ニーズの増大に対応するため、「水稻の多収品種の作付面積」に置き換え	t	H27	68	70	100

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
47	Ⅱ	2	藍の作付け面積(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	ha	H27	16	17	25
48	Ⅱ	2	産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額	○	本県園芸産地の推進を「野菜増産の推進」から「課題解決プログラムによる産地リノベーション」の指標へ変更したため設定	億円	H29	26	R元.12月	50
49	Ⅱ	2	熱帯性果樹の栽培実証経営体数(累計)	○	地球温暖化に対応した新たな品目の現地導入に向けた指標として設定	経営体	H29	-	-	4
50	Ⅱ	2	構造改革を実施した園芸産地における生産額		「産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額」へ置き換え	億円	H27	34	R元.12月	115
51	Ⅱ	2	課題解決戦略推進品目数		「産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額」と統合	品目	H27	-	4	12

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
52	Ⅱ	3	経営転換モデル数(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	モデル	H27	2	8	12
53	Ⅱ	3	JAS等取得件数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	件	H27	4	9	6
54	Ⅱ	3	飼料作物増産による飼料自給率の向上		目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	15	15	16
55	Ⅱ	3	飼料用米・飼料用稲利用畜産農家数		目標達成に向けて引き続き実施	軒	H27	62	68	67
56	Ⅱ	3	乳用牛群検定への農家加入率		目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	24	21	30
57	Ⅱ	3	「阿波尾鶏」の地鶏出荷羽数全国順位	○	畜産成長戦略や阿波尾鶏ブランド確立対策協議会の取組みを踏まえ、ブランド力の評価として実用的な目標を設定	位	H29	1	1	1
58	Ⅱ	3	牛・豚経営安定対策加入率	○	TPP11及び日EU-EPA発効後の経営安定対策の手段として事業への加入を推進する目標を設定	%	H29	84	88	87
59	Ⅱ	3	県有和牛雄牛を用いた人工授精頭数(累計)	○	高品質「阿波牛」の生産を増加する指標として設定	頭	H29	-	-	130
60	Ⅱ	3	「阿波尾鶏」出荷羽数		畜産成長戦略や阿波尾鶏ブランド確立対策協議会の取組みを踏まえ、現状における実用的な目標に置き換え	万羽	H27	209	214	300
61	Ⅱ	3	「阿波とん豚」出荷頭数		TPP11及び日EU-EPA発効により、影響を受ける養豚の生産指標に替わり、本県畜産業の「守り」に関する指標に置き換え	頭	H27	236	310	1,800
62	Ⅱ	3	「阿波牛」出荷頭数		TPP11及び日EU-EPA発効により、影響を受ける肉牛の生産指標に替わり、本県畜産業の「攻め」に関する指標に置き換え	頭	H27	2,702	3,278	2,950
63	Ⅱ	3	平時・災害時リバーシブル活用「阿波尾鶏」加工品(累計)		取り組みは継続するが、結果は「阿波尾鶏」や「海外輸出」の目標に置き換え	商品	H27	4	10	12
64	Ⅱ	3	畜産プレミアムブランド(累計)		取り組みは継続するが、結果は「阿波尾鶏」や「海外輸出」の目標に置き換え	件	H27	2	5	7

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
65	Ⅱ	4	県産材の生産量	○	目標達成に向けて引き続き実施	万m ³	H27	32	38	48
66	Ⅱ	4	木質バイオマスの供給量		目標達成に向けて引き続き実施	千t	H27	52	R2.2月	149
67	Ⅱ	4	製材品出荷量に占める人工乾燥材割合		人工乾燥材の普及促進を図る必要があることから上方修正 44→46	%	H27	39	46	46
68	Ⅱ	4	本県地形に適した「主伐生産システム」の導入数(累計)	○	森林資源の充実に伴い、主伐を中心とした生産システムの導入の推進を図る必要があることから設定	セット	H29	3	4	5
69	Ⅱ	4	コンテナ苗による人工造林面積	○	時期を問わず、植栽しやすい苗木の普及により、人工造林面積の増加を図る必要があることから設定	ha	H29	100	111	130
70	Ⅱ	4	県内の県産木材消費量	○	公共・民間別の消費量では規模、時期で変動があるため統合して設定	万m ³	H29	14	12.9	16.5
71	Ⅱ	4	木育拠点施設の開設	○	木育の推進に係る新たな指標として設定(新行動計画「R3開設」の目標)	-		推進	推進	推進
72	Ⅱ	4	新林業生産システム(先進林業機械)導入数(累計)		今後も着実な導入が図られることから、主伐に対応した新たなシステムへ置き換え	セット	H27	54	66	70
73	Ⅱ	4	人工造林面積		次世代苗木による人工造林の推進を図るため置き換え	ha	H27	146	178	300
74	Ⅱ	4	木質バイオマスによる発電量		目標値を達成し、今後も順調な推移が予定されており、バイオマスの推進についてはバイオマス利活用モデル地区数(V-5)に置き換え	kw	H27	-	6,470	6,250
75	Ⅱ	4	公共事業での県産木材使用量		公共・民間部門の木材使用における指標に統合	千m ³	H27	12	9	24
76	Ⅱ	4	県内の民間部門における県産木材消費量		公共・民間部門の木材使用における指標に統合	千m ³	H27	90	124	130
77	Ⅱ	4	製材工場1工場当たり県産材使用量		公共・民間部門の木材使用における指標に乗り換え	m ³	H27	1,317	1,219	2,090
78	Ⅱ	4	木育拠点「すぎの子木育広場」の創設(累計)		数値目標を達成しており、新たな木育拠点に係る目標設定をおこなったため乗り換え	箇所	H27	5	20	20

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
79	Ⅱ	5	水産物出荷・流通体制施設等の整備(累計)	○	実績値が年度別の数値目標を上回っていることから、上方修正 13→14	箇所	H27	8	12	14
80	Ⅱ	5	生産者(水産業者)と商工業者との連携件数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	件	H27	20	25	28
81	Ⅱ	5	ヒラメ種苗放流尾数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	千尾	H27	1,261	1,593	1,800
82	Ⅱ	5	アワビ種苗放流個数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	千個	H27	1,360	2,004	2,400
83	Ⅱ	5	クルマエビ種苗放流尾数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	万尾	H27	12,120	18,140	23,000
84	Ⅱ	5	中層型浮漁礁の設置(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	基	H27	-	4	4
85	Ⅱ	5	藻場造成箇所数(累計)	○	目標達成にむけて引き続き実施	箇所	H27	18	23	28
86	Ⅱ	5	大学や民間企業と連携した新養殖品種の導入	○	ブランド水産品の育成の指標として設定	-	H29	-	-	推進
87	Ⅱ	5	アワビ生産量		新行動計画の行動目標である「大学や民間企業と連携した新養殖品種の導入」に置き換え	t	H27	61	R2判明	100
88	Ⅱ	5	養殖わかめの生産量		新行動計画の行動目標である「大学や民間企業と連携した新養殖品種の導入」に置き換え	t	H27	6,317	R2判明	10,000
89	Ⅱ	5	天然わかめの生産量		新行動計画の行動目標である「大学や民間企業と連携した新養殖品種の導入」に置き換え	t	H27	29	88	300

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
90	Ⅱ	6	大学等によるサテライト研究室の設置		目標達成に向けて引き続き実施	箇所	H27	1	3	4
91	Ⅱ	6	「海の野菜」ブランド化の推進(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	件	H27	-	1	2
92	Ⅱ	6	新技術を導入した組織数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	件	H27	277	359	380
93	Ⅱ	6	新技術の開発に向けた大学・企業との共同研究数	○	平成29年度を基準にわかりやすい年間ごとの目標として再設定	件	H29	12	16	12
94	Ⅱ	6	新技術開発、人材育成等に向けた新たな連携協定参画企業等数(累計)	○	サイエンスゾーンの充実・強化に向けた新たな指標として設定	件	H29	2	4	5
95	Ⅱ	6	新たなイノベーション創出による農林水産物の産出額	○	目標達成に向けて引き続き実施	億円	H29	71	83	97
96	Ⅱ	6	農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数(累計)	○	長期の育種期間を踏まえた栽培上の課題を解決するための技術開発を推進する必要があることから、一体的な目標に統合	件	H29	12	18	30
97	Ⅱ	6	熱帯性果樹の栽培実証経営体数(累計)	○	再掲(Ⅱ-2)	経営体	H29	-	-	4
98	Ⅱ	6	スマート化技術導入経営体数(累計)	○	スマート農林水産業の実装の指標として設定	経営体	H29	10	7	40
99	Ⅱ	6	新技術の開発に向けた県内大学等との共同研究数		新行動計画に合わせて、わかりやすい年間数に変更	件	H27	8	16	25
100	Ⅱ	6	「徳島発・次世代技術」創造数(累計)		長期の育種期間を踏まえた栽培上の課題を解決するための技術開発を推進する必要があることから、一体的な目標に統合	件	H27	50	66	75
101	Ⅱ	6	新品種の開発数(累計)		長期の育種期間を踏まえた栽培上の課題を解決するための技術開発を推進する必要があることから、一体的な目標に統合	件	H27	13	14	17
102	Ⅱ	6	農業用アシストスーツ等導入数(累計)		新行動計画の「スマート化技術導入経営体数」に置き換え	件	H27	-	15	20
103	Ⅱ	6	実用化した技術数		「新技術を導入した組織数」に置き換え	件	H27	23	40	33

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
104	II	7	農畜水産物産出額	○	実績値が目標数値を上回っており、さらに戦略的な目標設定による上方修正 1135→1320	億円	H27	1,158 (H26)	-	1,320
105	II	7	カロリーベースでの食料自給率(徳島県)		目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	43 (H26)	-	45
106	II	7	生産額ベースでの食料自給率(徳島県)		目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	122 (H26)	-	126
107	II	7	農水省GAPガイドライン準拠以上の認定件数(累計)	○	「東京オリ・パラ」以降、国際水準GAPを取得した農産物の需要がより高まると見込まれることから、目標を上方修正 50→60	件	H27	14	40	60
108	II	7	有機・特別栽培面積	○	実績が目標数値を上回っており、農業生産活動に由来する環境への負荷の低減をより推進するため、上方修正 180→190	ha	H27	119	162	190
109	II	7	IPM実践生産者戸数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	戸	H27	381	558	600
110	II	7	農業適正使用アドバイザー等認定人数		認定人数を増やす取組として、研修会の開催回数を増やした結果、計画より増加したことから、目標を上方修正 860人→900人	人	H27	812	881	900
111	II	7	オープンラボ等を活用した農業者による残留農薬検査数(分析検体数)		目標達成に向けて引き続き実施	検体	H27	414	495	390
112	II	7	本県農林水産物の放射性物質の検査検体数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	体	H27	1,630	2,606	2,630
113	II	7	安定的サーベイランスの実施(家畜防疫体制)	○	目標達成に向けて引き続き実施	-	H27	推進	推進	推進
114	II	7	畜産農家の立入検査の実施率	○	目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	100	100	100
115	II	7	獣医療の提供率	○	目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	100	100	100
116	II	7	獣医学生のインターンシップ年間受入人数	○	行動計画に合わせ、実績に基づく目標値に上方修正 12→14	人	H27	13	14	14
117	II	7	獣医師修学資金の貸与者数	○	目標達成にむけて引き続き実施	人	H27	2	4	4
118	II	7	家畜排せつ物の再利用率	○	目標達成にむけて引き続き実施	%	H27	100	100	100
119	II	7	家畜伝染病発生件数(高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫)		目標達成にむけて引き続き実施	件	H27	0	0	0
120	II	7	家畜伝染病発生に備えた防疫演習・研修会等の実施		目標達成にむけて引き続き実施	回	H27	11	11	11
121	II	7	GAP認証取得「ステップアップフォーラム(仮称)」の開催	○	国際水準GAP取得を推進するため指標として設定		H29	-	-	開催
122	II	7	農作業における事故件数	○	人の安全性にも配慮した農業を推進するため指標として設定	件	H29	79	36	50
123	II	7	公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数(累計)	○	世界から外国人客が集まるイベント等で、県産食材をPRし、海外での認知度向上を図るため設定	品目	H29	-	-	8
124	II	7	ホストタウン対象国メニュー開発数(累計)	○	世界から外国人客が集まるイベント等で、県産食材をPRし、海外での認知度向上を図るため設定	メニュー	H29	-	-	8
125	II	7	農場HACCP認証等取得件数(累計)	○	経営の安定した生産者に対し、グローバル化への対応策として、高い衛生管理等を証明する認証取得を推進するため設定	件	H29	6	9	10
126	II	7	エンカル農業を実践するための新制度の創設	○	環境に配慮した持続可能性の高い農業を推進するため設定		H29	-	創設	-
127	II	7	エンカル農産物の生産面積	○	環境に配慮した持続可能性の高い農業を推進するため設定	ha	H29	1,415	1,460	1,710

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
128	Ⅱ	7	GAP認証を取得した若手農業者数(累計)		今後は青年農業者に限らずGAPの取組推進を図ることとし、農水省GAPガイドライン準拠以上の認定件数に置き換え	人	H27	15	50	80
129	Ⅱ	7	有機農業に関する相談窓口設置市町村数		有機農業を志向する就農者においても、就農計画に基づいて、行政や関係団体からの支援を受ける体制が整備され、窓口設置の必要がなくなったため、削除	市町村	H27	4	12	16
130	Ⅱ	7	エコファーマー・マーク利用件数		「とくしまエシカル農産物」の一つとして位置づけ、PRを展開するとともに農業者への支援体制を強化することが重要となることから、エシカル農産物の生産面積の目標に置き換え	件	H27	1,025	1,051	1,070

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
131	Ⅱ	8	県民における食育への関心度	○	目標達成にむけて引き続き実施	%	H27	91	84	95
132	Ⅱ	8	ジュニア・若手食育リーダー数		目標達成にむけて引き続き実施	人	H27	63	195	300
133	Ⅱ	8	県産食材供給量(学校給食、社員食堂、福祉施設給食等)		目標達成にむけて引き続き実施	万円	H27	2,329	2,618	2,800
134	Ⅱ	8	「主食・主菜・副菜」を基本とするなど食事のバランスに配慮した食生活を実践している人の割合	○	国基本計画ではH32までに70%以上を目指しており、目標達成後の維持を目標に設定	%	H29	59	58	70
135	Ⅱ	8	普段の買物や食事の際に地産地消を意識している人の割合	○	徳島県食育推進計画の目標値H32:90%目標達成後の維持を目標とし設定	%	H29	80	83	90
136	Ⅱ	8	「とくしま食育応援団」HPへの食育地産地消情報公開数(累計)		新行動計画、徳島県食育推進計画(第3次)に合わせ、県民の食育への関心度に置き換え	件	H27	39	147	250
137	Ⅱ	8	とくしま食巡りの店、働くパパ・ママ食の応援店数		新行動計画、徳島県食育推進計画(第3次)に合わせ、県産食材供給量に置き換え	店	H27	129	171	250
138	Ⅱ	8	「野菜たっぷり料理レシピ」の作成(累計)		新行動計画、徳島県食育推進計画(第3次)に合わせ、県民の食育への関心度に置き換え	件	H27	32	80	90
139	Ⅱ	8	地域食材魅力発信型直売所の整備(累計)		新行動計画、徳島県食育推進計画(第3次)に合わせ、県産食材供給量に置き換え	店	H27	2	6	7

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
140	Ⅲ	1	「とくしまブランド推進機構」の関与した販売金額	○	目標達成にむけて引き続き実施	億円	H27	-	R元.12月	30
141	Ⅲ	1	「阿波ふうどスペシャリスト」の認定数	○	すでに目標を達成しており、多くの 人、法人、団体を登録し、阿波ふうど の魅力さをさらに推進するため上方修正	者	H27	11	194	350
142	Ⅲ	1	CoC認証取得工場数		目標達成に向けて引き続き実施	事業所	H27	18	25	30
143	Ⅲ	1	県産材の県外出荷量	○	県内出荷量が増えているため、県外 出荷量を下方修正 30→28	万m2	H27	20	23	28
144	Ⅲ	1	ブランド水産物の消費拡大に向けた協議会の組織数		目標達成に向けて引き続き実施	組織	H27	4	4	5
145	Ⅲ	1	産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額	○	再掲(Ⅱ-2)	億円	H29	26	R元.12月	50
146	Ⅲ	1	とくしまブランド推進機構の関与した産地と実需者とのマッチング件数	○	とくしまブランド推進機構の営業活動 の成果指標として設定(毎年15件程度 のマッチングを図る)	件	H29	16	31	60
147	Ⅲ	1	「Turn Table」での販売総売上額	○	安定的な施設運営と事業効果の発揮 に必要な飲食・物販部門の販売総売 上額を設定	億円	H29	0.1	1.1	2.3
148	Ⅲ	1	「Turn Table」の利用者数	○	本県の魅力発信に係る事業効果の 評価指標として利用者数を設定	万人	H29	1	3	3
149	Ⅲ	1	阿波ふうどメニューフェア飲食者数	○	本県を訪れる観光客に「阿波ふうど」 を提供し、徳島の魅力を発信するた め設定	千人	H29	-	-	3
150	Ⅲ	1	「阿波ふうど」に関する#(ハッシュタグ)投稿件数	○	一般消費者に向けて大きな影響力を 持つSNSで「阿波ふうど」の認知度向 上をめざす指標として設定	件	H29	214	258	450
151	Ⅲ	1	公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数(累計)【再掲】	○	再掲(Ⅱ-7)	品目	H29	-	-	8
152	Ⅲ	1	「阿波尾鶏」の地鶏出荷羽数全国順位【再掲】	○	再掲(Ⅱ-3)	位	H29	1	1	1
153	Ⅲ	1	県産材の海外輸出額	○	県産材の販路開拓の指標として設定	百万円	H29	100	151	135
154	Ⅲ	1	「徳島の活鰻PRキャンペーン」参加店舗数(累計)	○	ブランド水産品の育成、販路開拓の 指標として設定	店舗	H29	55	129	260
155	Ⅲ	1	県産水産物を使用する料理教室への参加者数(累計)	○	ブランド水産品の育成、販路開拓の 指標として設定	人	H29	234	428	800
156	Ⅲ	1	「鳴門わかめ認証制度」の認知度	○	ブランド水産品の育成、販路開拓の 指標として設定	%	H29	23	-	28
157	Ⅲ	1	大学や民間企業と連携した新養殖品種の導入【再掲】	○	再掲(Ⅱ-5)	-	-	-	-	推進
158	Ⅲ	1	構造改革を実施した園芸産地における生産額【再掲】		再掲(Ⅱ-2)	億円	H27	34	R元.12月	115
159	Ⅲ	1	営業活動による商談成立金額		新行動計画「とくしまブランド推進機 構の関与した産地と実需者とのマッ チング件数」へ置き換え	億円	H27	1	2	3
160	Ⅲ	1	「とくしまブランドギャラリー」の設置		H30年度に「Turn Table」として開設 済のため削除	-	H27	-	創設	推進
161	Ⅲ	1	新タイプのPR車両の導入		H30年度に導入済みのため削除	-	H27	-	導入	推進
162	Ⅲ	1	国内外メディアへの露出回数		「阿波ふうど」の認知度向上を図るた め、「阿波ふうど」に関する#(ハッ シュタグ)投稿件数の目標に置き換 え	回	H27	17	65	300
163	Ⅲ	1	リーディング品目の認知度		特定品目だけでなく「阿波ふうど」の 認知度向上を図るため「阿波ふうど」 に関する#(ハッシュタグ)投稿件数 の目標に置き換え	%	H27	73	76	80
164	Ⅲ	1	「とくしま特選ブランド」選定数		すでに目標数値値を達成しており、今 後は認定商品の認知度向及び販路 拡大を推進する目標に置き換え	品	H27	77	121	100

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
165	Ⅲ	1	とくしまブランドギャラリーでの情報発信回数		認知度向上を図るため、「TurnTable」の利用者数」の目標に置き換え	回	H27	-	13	5
166	Ⅲ	1	「阿波尾鶏」出荷羽数【再掲】		再掲(Ⅱ-3)	万羽	H27	209	214	300
167	Ⅲ	1	「阿波とん豚」出荷頭数【再掲】		再掲(Ⅱ-3)	頭	H27	236	310	1,800
168	Ⅲ	1	「阿波牛」出荷頭数【再掲】		再掲(Ⅱ-3)	頭	H27	2,702	3,278	2,950
169	Ⅲ	1	畜産プレミアムブランド(累計)【再掲】		再掲(Ⅱ-3)	件	H27	2	5	7
170	Ⅲ	1	県外における県産材製品の常設展示施設数		新行動計画の行動目標である県産材の県外出荷量に置き換え	件	H27	4	7	7
171	Ⅲ	1	県産材の海外輸出量		高付加価値製品の輸出拡大を進めるため、新行動計画の行動目標である県産材の海外輸出額に置き換え	m3	H27	5,979	6,362	13,500
172	Ⅲ	1	県産木材住宅の輸出戸数		高付加価値製品の輸出拡大を進めるため、新行動計画の行動目標である県産材の海外輸出額に置き換え	戸	H27	2	14	70
173	Ⅲ	1	「徳島の活鯉PRキャンペーン」応募者数		新行動計画の行動目標である「『徳島の活鯉PRキャンペーン』参加店舗数(累計)」に置き換え	人	H27	3,971	3,514	4,000
174	Ⅲ	1	徳島産はも応援料理店の店舗数		新行動計画の行動目標である「『徳島の活鯉PRキャンペーン』参加店舗数(累計)」に置き換え置き換え	店舗	H27	8	13	21
175	Ⅲ	1	デパ地下等での「徳島のさかな」PR回数		新行動計画の行動目標である「『徳島の活鯉PRキャンペーン』参加店舗数(累計)」に置き換え	回	H27	5	30	30
176	Ⅲ	1	魚を使った料理教室の開催		新行動計画の行動目標である「県産水産物を使用する料理教室への参加者数(累計)」に置き換え	回	H27	21	40	36
177	Ⅲ	1	鳴門わかめ認証制度認定加工業者数		新行動計画の行動目標である「『鳴門わかめ認証制度』の認知度」に置き換え	事業者	H27	16	23	80

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
178	Ⅲ	2	農工商連携等による6次産業化商品開発事業数(累計)	○	実績値が目標数値を上回っており、さらに戦略的な目標設定として上方修正 380→430	件	H27	209	308	430
179	Ⅲ	2	六次産業化法による「総合化事業計画」認定数(累計)	○	「六次産業化法」に位置づけられた計画であり、推進状況を図る指標として適当であることから、直近の増加実績により目標値を下方修正 53→42	件	H27	32	36	42
180	Ⅲ	2	戦略的な販路開拓のための展示会・商談会への出展数(累計)	○	目標数値を達成しており、さらに戦略的な目標設定をおこなったため上方修正 150→420	出展	H27	99	320	420
181	Ⅲ	2	生産者(水産業者)と商工業者との連携件数(累計)【再掲】		再掲(Ⅱ-5)	件	H27	20	25	28
182	Ⅲ	2	六次産業化研究施設の利用者数【再掲】	○	平成30年度を基準にわかりやすい年間目標として設定	人	H29	—	310	300
183	Ⅲ	2	六次産業化法に基づく「総合化事業計画」策定事業者の売上額	○	旧計画では「売上増加額の累計額」としていたが、数値目標を明確化するため、年度毎の「売上額」に変更して設定	億円	H29	8.6	R2.3月	9.8
184	Ⅲ	2	六次産業化法による「総合化事業計画」の売上増加額(累計)		旧計画では「売上増加額の累計額」としていたが、数値目標を明確化するため、年度毎の「売上額」に変更	億円	H27	2.8	R2.3月	9.8
185	Ⅲ	2	藍を活用した食品等開発数(累計)		目標を達成し、藍を活用した食品開発は定着していることから、「農工商連携等による6次産業化商品開発事業数(累計)」に統合	件	H27	9	27	29
186	Ⅲ	2	六次産業化研究施設の利用者数(累計)		新行動計画に合わせ、わかりやすい年間目標に変更	人	H27	—	310	1,000

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
187	Ⅲ	3	農林水産物等輸出金額	○	目標達成にむけて引き続き実施	億円	H27	6	13	16
188	Ⅲ	3	県産米輸出数量【再掲】	○	再掲(Ⅱ-1)	t	H27	60	112	86
189	Ⅲ	3	「とくしまブランド海外協力店」数 (累計)	○	目標を達成しており、グローバル化に 向けて推進する必要があることから 上方修正 14→17	店舗	H27	10	15	17
190	Ⅲ	3	ハラル認証商品・サービス数 (累計)	○	目標を達成しており、グローバル化に 向けて更に推進する必要があること から上方修正 65→175	商品	H27	43	147	175
191	Ⅲ	3	「とくしまブランド」輸出に取り組む 事業者数(累計)	○	ブランド品の輸出推進の指標として設 定	事業者	H29	-	-	60
192	Ⅲ	3	県産材の海外輸出額	○	再掲(Ⅲ-1)	百万円	H29	100	151	135
193	Ⅲ	3	畜産物の海外輸出量	○	平成29年度末に改訂された「とくしま 畜産成長戦略」の中長期戦略目標に 基づき設定	t	H29	54	61	108
194	Ⅲ	3	「とくしまブランド」輸出品目数		輸出品目数を増やす「拡大化」から輸 出額の伸び率の良い品目の実績を 太くする「重点化」へとシフトするこ とから削除	品目	H27	21	40	40
195	Ⅲ	3	「とくしまブランド」輸出相手先国・ 地域数		輸出相手先国・地域数を増やす「拡 大化」から輸出額の伸び率の良い国・ 地域の実績を太くする「重点化」へシ フトすることから削除	か国	H27	13	20	22
196	Ⅲ	3	県産材の海外輸出量【再掲】		再掲(Ⅲ-1)	m3	H27	5,979	6,362	13,500
197	Ⅲ	3	県産木材住宅の輸出戸数【再掲】		再掲(Ⅲ-1)	戸	H27	2	14	70

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
198	IV	1	国営総合農地防災事業による基幹用水路の整備延長(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	km	H27	69	77	81
199	IV	1	耕作放棄地解消面積(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	ha	H27	656	992	900
200	IV	1	基幹農道の整備延長(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	km	H27	35	37	38
201	IV	1	ほ場の整備面積(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	ha	H27	6,839	6,971	6,990
202	IV	1	基盤の整備面積(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	ha	H27	9,922	10,249	11,000
203	IV	1	老朽化対策に着手した基幹的水利施設数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	施設	H27	28	40	60
204	IV	1	耕作放棄地を活用した放牧実施箇所(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	箇所	H27	47	50	48
205	IV	1	「農地中間管理機構」を活用した農地集積面積(累計)	○	農地中間管理機構実績のみとして、わかりやすい目標として設定	ha	H29	357	462	680
206	IV	1	「農地中間管理機構」等を活用した農地集積面積(累計)(うち新規就農者300ha)		新行動計画に合わせて、わかりやすい対象に変更	ha	H27	242 (64)	991 (155)	3,000 (300)

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
207	IV	2	林内路網開設延長(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	km	H27	7,242	7,730	7,950
208	IV	2	森林境界明確化の実施率(累計)		これまでの進捗状況を加味し、数値 目標を再設定 54→48	%	H27	40	47	48
209	IV	2	保安林指定面積(民有林)(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	ha	H27	97,517	98,098	98,500
210	IV	2	「とくしま県版保安林」の指定面積 (累計)	○	県行動計画のH30目標値 250ha に対し、333haの指定実績があった ため上方修正 400→450	ha	H27	170	333	450
211	IV	2	森林経営計画認定面積(累計)		これまでの進捗状況を加味し、数値 目標を再設定 66,000→59,000	ha	H27	24,456	57,981	59,000
212	IV	2	「公的管理森林」面積(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	ha	H27	4,094	7,538	9,150

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定, 修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
213	IV	3	老朽化対策に着手した漁港海岸・漁港施設(岸壁等)数(累計)		目標達成にむけて引き続き実施	箇所	H27	4	18	17
214	IV	3	藻場造成箇所数(累計)【再掲】	○	再掲(Ⅱ-5)	箇所	H27	18	23	28
215	IV	3	漂流・海底ゴミ等の回収・処理等	○	数値目標ではなく, 全般的に推進を図る項目として設定		H29	推進	推進	推進
216	IV	3	掃海実施件数		掃海だけでなく全般的に推進を図る目標に置き換え	件	H27	4	7	7

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
217	IV	4	漁港・漁港海岸の地震・津波対策の実施数(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	箇所	H27	4	13	13
218	IV	4	漁村における津波避難施設等整備箇所数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	箇所	H27	2	6	7
219	IV	4	土地改良施設の耐震化施設数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	施設	H27	3	5	6
220	IV	4	農業用ため池整備箇所数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	箇所	H27	4	6	8
221	IV	4	緊急輸送道路を補完する農林道の整備延長(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	km	H27	20	25	27
222	IV	4	地籍調査事業の進捗率	○	技術者単価の上昇や事業費の高む包括委託制度の活用により、直近の年度進捗率は、1%程度となっているため、これを反映し、下方修正 42→40	%	H27	35	38	40
223	IV	4	「農業版BCP」実地訓練等参加者数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	人	H27	247	631	700
224	IV	4	「漁協版BCP」の策定数(累計)	○	実績値が数値目標を上回っており、災害に備え策定を一層進める必要があることから上方修正 20→25	件	H27	9	20	25
225	IV	4	陸こう等の自動化・閉鎖率	○	目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	43	46	48
226	IV	4	防災重点ため池を対象とした「ため池マップ」の作成	○	平成30年7月豪雨を契機として、全国において防災重点ため池の見直しや効果的なため池対策に取り組むことになったため設定	公表	H29	-	-	公表
227	IV	4	土地改良区BCPの策定数(累計)	○	津波浸水エリア、中央構造線エリアの基幹的水利施設を管理している全ての土地改良区にBCP策定を推進し、速やかな施設復旧、被災の軽減に繋げるため、設定	地区	H29	10	11	17
228	IV	4	「漁村防災・減災力向上計画」の策定箇所数(累計)		「漁協版BCPの作成数(累計)」に置き換え	箇所	H27	4	4	9
229	IV	4	ハザードマップを作成した農業用ため池数(累計)		目標達成したことから、新行動計画に合わせた「ため池マップの作成」に目標を置き換え	箇所	H27	80	225	120

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
230	IV	5	土砂災害の危険性のある人家の 保全数(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	戸	H27	2,261	2,443	2,500
231	IV	5	農業用ため池整備箇所数(累計) 【再掲】		再掲(IV-4)	箇所	H27	4	6	8
232	IV	5	山地防災ヘルパーの認定者数(累 計)	○	実績値が目標を上回るペースで推移 しており、新動計画の数値目標へ上 方修正 178→190	人	H27	137	174	190
233	IV	5	山地災害の危険性が高い箇所(山 地災害危険地区)の調査・点検パ トロール実施箇所数(年間)	○	山地災害危険地区のうち特に危険度 ランクが高い箇所を年間数で設定	箇所	H29	181	202	180
234	IV	5	防災重点ため池を対象とした「た め池マップ」の作成【再掲】	○	再掲(IV-4)	公表	H29	-	-	公表
235	IV	5	高潮浸水想定区域図の作成や破 堤防止のための堤防補強などソフト・ ハードの両面から高潮対策を推 進	○	減災防災を図る指標として設定	推進	H29	推進	推進	推進
236	IV	5	倒木対策の推進	○	防災減災を図る指標として設定	推進	H29	推進	推進	推進
237	IV	5	山地災害の危険性が高い箇所の 調査・点検パトロール実施箇所数 累計		新行動計画に合わせてわかりやすい 年間数に変更	箇所	H27	208	664	1,108
238	IV	5	ハザードマップを作成した農業用 ため池数(累計)【再掲】		再掲(IV-4)	箇所	H27	80	225	120

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
239	V	1	自然環境調査に基づく事業計画策定地区数(累計)	○	目標達成にむけて引き続き実施	地区	H27	54	63	64
240	V	1	田んぼの学校等の環境学習の開催日数(累計)		目標達成にむけて引き続き実施	日	H27	16	28	40
241	V	1	農山漁村(ふるさと)協働パートナーの協定数(累計)	○	実績値が目標数値を上回っており、さらに戦略的な目標設定をおこなったため上方修正 67→72	協定	H27	52	68	72
242	V	1	「ふるさと水と土指導員」の認定数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	人	H27	51	54	56
243	V	1	カーボン・オフセットに基づく森づくり企業・団体数(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	企業・団体	H27	123	151	150
244	V	1	森林吸収量取引制度認証面積(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	ha	H27	1,601	2,731	3,800
245	V	1	木製品によるCO2固定量認証企業・団体(累計)	○	二酸化炭素の吸収だけでなく、固定の推進にも取り組むために指標として設定	団体	H29	-	-	4
246	V	1	県民参加による森づくり参加者数(累計)		目標を達成し、今後も継続して推進が見込まれることから削除	人	H27	508	3,610	3,000
247	V	1	「県民憩いの森(仮称)」の創設(累計)		目標を達成し、今後も継続して推進が見込まれることから削除	箇所	H27	-	10	10
248	V	1	個人寄附金による森づくり箇所数(累計)		目標を達成し、今後も継続して推進が見込まれることから削除	箇所	H27	15	27	20

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
249	V	2	とくしま農林漁家民宿数(実数)	○	新行動計画に合わせて累計から実数に変更し、廃業数を除いた純増を年当たり5軒と想定して設定	軒	H29	49	58	65
250	V	2	とくしま農林漁家民宿数等の体験宿泊者数	○	既に目標を達成しており、今後も継続して推進をはかることから上方修正 3200→5200	人	H27	3,190	4,216	5,200
251	V	2	農山漁村(ふるさと)協働パートナーの協定数(累計)【再掲】	○	再掲(V-1)	協定	H27	52	68	72
252	V	2	農山漁村(ふるさと)協働パートナーの参加人数(累計)		実績値が目標数値を上回っており、さらに戦略的な目標設定のため、上方修正 3400→4700	人	H27	1,932	3,741	4,700
253	V	2	とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業による活動日数(累計)		目標達成に向けて引き続き実施	日	H27	182	299	330
254	V	2	体験交流施設の利用者数		既に目標を達成しており、今後も継続して利用される見込みがあるため削除	人	H27	17,085	27,583	18,800

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
255	V	3	「未来ある農山漁村づくり」に向けたビジョンの作成地区数	○	目標達成に向けて引き続き実施	地区	H27	3	12	18
256	V	3	多面的機能の維持・発揮に取り組んだ広域連携組織数		目標達成に向けて引き続き実施	組織	H27	17	19	22
257	V	3	中山間地域総合整備事業の実施地区数		目標設定に向けて引き続き実施	地区	H27	35	37	39
258	V	3	「林道プラットフォーム」の利用推進(林道登載路線数)		目標設定に向けて引き続き実施	路線	H27	16	33	42
259	V	3	多面的機能支払交付金により保 全管理された農用地面積	○	農業者等の組織が草刈りや泥上げなど、基礎的な取組を行う面積を指標とし、面積は、農地転用や耕作放棄により減少傾向にあるため、現状維持で設定	ha	H29	9,888	9,900	9,900
260	V	3	多面的機能の維持・発揮のための 共同活動実施地区面積が耕地面積に占める割合		多面的機能による保全管理された面積に置き換え	%	H27	30	44	30
261	V	3	「阿波地美栄」取扱店舗数（料理店）		「阿波地美栄」取扱店舗は、地域を守る取組として、V-4鳥獣による被害の防止に統一することとして削除	店舗	H27	23	39	42

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
262	V	4	野生鳥獣による「被害ゼロ集落」のモデル育成数		目標達成に向けて引き続き実施	集落	H27	-	21	63
263	V	4	野生鳥獣による農作物被害額	○	目標達成に向けて引き続き実施	百万円	H27	123	103	92
264	V	4	新たなカワウ被害防止対策の実施箇所数(累計)	○	目標達成に向けて引き続き実施	箇所	H27	2	8	12
265	V	4	剣山山系におけるニホンジカの年間捕獲数	○	生息密度が高く、捕獲が進みにくい剣山系におけるニホンジカの捕獲強化を推進する必要があるため設定	頭	H29	14	38	50
266	V	4	都市部におけるイノシシの出没危険度調査の実施	○	近年、眉山周辺などの市街地にイノシシが出没しており、人身被害等を防止するため指標として設定	地区	H29	-	-	2
267	V	4	「40歳未満」の狩猟免許取得者数(累計)	○	狩猟者の高齢化や減少が進行しており、野生鳥獣捕獲の担い手である若手狩猟者の育成が急務であるため指標として設定	人	H29	294	330	305
268	V	4	指定管理鳥獣捕獲等事業の実施地区	○	増えすぎたニホンジカやイノシシを科学的知見に基づき、適切な生息水準まで削減する必要があるため指標として設定	地区	H29	-	6	5
269	V	4	とくしまハンティングスクールの受講者数	○	実際に狩猟を行う次世代の人材育成を行い、野生鳥獣の捕獲の担い手を確保するため指標として設定	人	H29	-	6	5
270	V	4	ニホンジカモニタリング調査	○	科学的知見に基づく調査により、ニホンジカの個体数管理を適切に行う必要があるため指標として設定		H29	-	調査	調査
271	V	4	「阿波地美栄」取扱店舗数	○	加工品販売や食肉処理施設の店舗を加えることで、阿波地美栄の消費拡大をより一層推進するため設定	店舗	H29	35	41	48
272	V	4	「阿波地美栄×狩猟フェスタ」の開催	○	H30年度に開催した日本ジビエサミットin徳島のレガシーとして、県版ジビエ普及イベントを開催し、普及促進を図る指標として設定	開催	H29	-	-	開催
273	V	4	東部圏域における処理加工施設	○	県内の空白地である東部圏域において処理加工施設を整備する必要があることから設定		H29	-	-	整備
274	V	4	徳島型鹿の一時飼養システムの導入箇所数	○	処理施設近くに一時飼養施設を設置し、ジビエの安定供給の推進を図る必要があることから設定		H29	-	-	1
275	V	4	「阿波地美栄」取扱店舗数【再掲】		再掲(V-3)	店舗	H27	23	39	42
276	V	4	イノシシ捕獲頭数(※目標値はH29年、実績値はH30速報値)		個体数管理を継続しつつ、都市部への出没対策に取り組むため、新たな目標として、出没危険度調査を設定に置き換え	頭	H27	8,794	7,451	6,000
277	V	4	ニホンジカの食肉処理頭数		目標値を既に達成し、今後は東部圏域の処理加工施設の整備の取組等により、食肉処理頭数の増加を図ることから置き換え	頭	H27	375	909	565
278	V	4	鳥獣被害対策実施隊が捕獲活動に従事する市町村数(累計)		実施隊が捕獲活動に従事する市町村数が増加しても、直接、農作物被害額の減少にはつながらないため削除	市町村	H27	10	15	19
279	V	4	ニホンジカ捕獲頭数(※目標値はH29年、実績値はH30速報値)		剣山系における生息密度が高く、特に捕獲圧を高める必要があることから、新たな数値目標に置き換え	頭	H27	12,582	12,717	13,800
280	V	4	「鳥獣被害情報システム」を活用した集落数		野生鳥獣による「被害ゼロ集落」のモデル育成において、「鳥獣被害情報システム」を活用しながら一体的に取り組んでいくため統合	集落	H27	-	33	35
281	V	4	鳥獣被害対策指導員の養成人数		目標値を既に達成しており、今後、鳥獣被害対策指導員が主になって「被害ゼロ集落」の育成に取り組みに置き換え	人	H27	95	142	135
282	V	4	集落等で取り組んだ防止施設等の整備件数(累計)		防止施設等の整備をしつつ、野生鳥獣による農作物被害額の減少に取り組むため被害額の減少に統合	件	H27	1,327	1,633	1,700
283	V	4	モンキードッグの育成頭数		サル被害対策(追い払い対策等)は多様化しており、目標設定がモンキードッグ需要に合っていないため、「被害ゼロ集落」のモデル育成の取組の一環として統合	頭	H27	50	61	75

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
284	V	5	漁業協調型・自然エネルギーの導入		目標達成にむけて引き続き実施	-	H27	データ 収集	調査・ 検討	推進
285	V	5	省エネ・低コスト化施設の導入件数(累計)	○	目標達成にむけて引き続き実施	件	H27	20	23	25
286	V	5	バイオマス利活用モデル地区数(累計)	○	未利用木質資源などバイオマスの生産・利用を促すバイオマス利活用モデルの普及が求められているため上方修正 36→39	地区	H27	32	37	39
287	V	5	使用済み農業用フィルム(各種ビニール類)回収率		目標達成に向けて引き続き実施	%	H27	97	99	100
288	V	5	堆肥の特殊肥料への届出件数		目標達成に向けて引き続き実施	件	H27	169	177	184
289	V	5	藻場造成箇所数(累計)【再掲】	○	再掲(Ⅱ-5)	箇所	H27	18	23	28
290	V	5	コンテナ苗木による人工造林面積【再掲】	○	再掲(Ⅱ-4)	ha	H29	100	111	130
291	V	5	間伐等森林整備面積(累計)	○	生産を伴わない保育間伐等の整備目標として設定	ha	H29	24,552	25,903	27,000
292	V	5	小水力発電施設整備モデル地区数(累計)	○	小水力発電施設整備モデル地区の増加により農村地域における自然エネルギーの有効活用を促進するため設定	地区	H29	—	—	2
293	V	5	国内森林吸収源「とくしま型認証制度」の創設	○	国内において森林吸収量取引制度に合致する徳島県版の制度を創設するため設定		H29	—	—	創設
294	V	5	補助事業を活用した自然エネルギーの導入地区数		太陽光は全県的に導入が進んでいるが、小水力は技術的な課題がある等、実績が少なく重点的に進める必要がありモデル地区数の指標に置き換え	地区	H27	10	11	14
295	V	5	間伐実施面積(累計)		新行動計画の行動目標である間伐等森林整備面積(累計)に置き換え	千ha	H27	64	71	78
296	V	5	人工造林面積【再掲】		再掲(Ⅱ-4)	ha	H27	146	178	300
297	V	5	針広混交林・複層林の誘導面積(累計)		新行動計画の行動目標である間伐等森林整備面積(累計)に置き換え	ha	H27	22,367	25,495	26,000
298	V	5	広葉樹林の整備面積(累計)		新行動計画の行動目標である間伐等森林整備面積(累計)に置き換え	ha	H27	1,113	1,667	1,500

通し 番号	基本 戦略	項目	行動目標	行動 計画	設定、修正等理由	単位	基準値		実績値	目標値
							年度	数値	H30	R2
299	V	6	保安林指定面積(民有林)(累計) 【再掲】	○	再掲(Ⅳ-2)	ha	H27	97,517	98,098	98,500
300	V	6	「公的管理森林」面積(累計) 【再掲】	○	再掲(Ⅳ-2)	ha	H27	4,094	7,538	9,150
301	V	6	森林境界明確化の実施率(累計) 【再掲】		再掲(Ⅳ-2)	%	H27	40	47	48
302	V	6	新技術開発、人材育成等に向けた 新たな連携協定参画企業等数(累 計) 【再掲】	○	再掲(Ⅱ-6)	件	H29	2	3	5
303	V	6	農林水産物の新品種・新技術の 開発・導入数(累計) 【再掲】	○	再掲(Ⅱ-6)	件	H29	12	18	30
304	V	6	熱帯性果樹の栽培実証経営体数 (累計) 【再掲】	○	再掲(Ⅱ-2)	経営体	H29	—	—	4
305	V	6	「徳島発・次世代技術」創造数(累 計) 【再掲】		再掲(Ⅱ-6)	件	H27	50	66	75
306	V	6	新品種の開発数(累計) 【再掲】		再掲(Ⅱ-6)	件	H27	13	14	17